

第4回分科会における意見聴取後の中期計画の主な修正について

項目		資料1のページ	第4回分科会(H24.11.9)提出版	修正後(議会提出予定)	修正の趣旨
1(1)	エ	地域連携の推進	4ページ 5行目 ○ 患者が切れ目のない医療・介護サービスを受けるため、地域の医療機関や介護施設等との連携を図り、急性期医療機関として質の高い在宅医療を支援する。 ○ 地域の医療機関や介護施設等との役割を明確にするとともに、患者の病状に応じた柔軟な入退院の協力体制の構築など、医療と介護の連携モデルの構築を目指す。	○ 在宅医療に対する医療連携病床の設置をはじめ、地域の医療機関や介護施設等との連携や協力体制の構築を図り、高齢者に係る質の高い在宅療養の実現に貢献する。 ○ 隣接する介護施設とそれぞれの機能を活かしながら緊密な協力体制を構築し、 <u>地域における医療と介護の連携モデルとして発信していく。</u>	・具体的な取組として「医療連携病床」の設置を記述 ・「隣接する介護施設」とし、板橋ナーシングの後継施設との連携を明記 ・医療と介護の連携モデルを構築し、「発信」することを明記
1(1)	カ	患者中心の医療の実践・患者サービスの向上	5ページ 2行目 院内の療養環境をはじめとする患者アメニティの向上や専門性の高い医療内容の平易な説明に努めるなど、患者・家族の立場に立ったサービスの提供を行う。	院内の療養環境をはじめとする患者アメニティの向上や医療内容の平易な説明に努めるなど、患者・家族の立場に立ったサービスの提供を行う。	・医療全般について平易な説明を行う必要があるため、「専門性の高い」を削除
1(2)	ウ(ア)	安心して生活するための社会環境づくりへの貢献	6ページ 5行目 ○ 高齢者の社会参加や社会貢献活動が健康長寿に及ぼす影響を研究する。また、 <u>虚弱化予防プログラムや社会システムなどを開発し、超高齢社会における諸問題の解決に役立てる。</u>	○ 高齢者の社会参加や社会貢献活動が健康長寿に及ぼす影響を研究する。また、 <u>虚弱化予防などのプログラムを開発するとともに、それらのプログラムを活用した社会システムを提案するなど、超高齢社会における諸問題の解決に役立てる。</u>	・「虚弱化予防プログラムや社会システムを開発」を分かりやすく記述
1(2)	エ	先進的な老化研究の展開・老年学研究におけるリーダーシップの発揮	6ページ 下から 7行目 ○ 国内外から研究員や留学生等を受け入れ、研究所においてはセミナーや研修など自己啓発の機会を提供する。	○ センター内において、セミナーや研修など自己啓発の機会を提供するとともに、国内外からも研究員や留学生等の受入れを行い、 <u>老年学研究においてリーダーシップを発揮する人材育成を図る。</u>	・センター職員である研究員に関する記述と、国内外から受け入れる研究員等に関する記述を区分 ・老年学研究においてリーダーシップを発揮する人材育成について明記
2(1)		地方独立行政法人の特性を活かした業務の改善・効率化	8ページ 2行目 ○ 人事考課制度の適切な運用や職員の適性に応じた的確な人事配置、職員自らが業務改善や病院運営に参画できる体制の整備など、職員のモチベーション向上につながる取組を進めていく。	○ 人事考課制度の適切な運用や職員の適性に応じた的確な人事配置、 <u>各職員の意見をセンターの運営に反映する仕組みの整備など、職員のモチベーション向上につながる取組を進めていく。</u>	・法人運営への「参画」は、職員提案など意見反映の仕組み整備である趣旨を踏まえ、修正
2(2)		適切なセンター運営を行うための体制の強化	8ページ 6行目 ○ より適切な意思決定を行うための組織体制の整備や業務監査の実施による内部監査体制の強化などを進め、一層の経営機能の強化とセンター運営の透明性・健全性の確保を図る。	○ より適切な <u>トップマネジメントを行うための組織体制の整備</u> や業務監査の実施による内部監査体制の強化などを進め、一層の経営機能の向上とセンター運営の透明性・健全性の確保を図る。	・第4回分科会(H24.11.9)における意見を踏まえ、より適切なトップマネジメントの強化について明記
5(1)		短期借入金の限度額	9ページ 14行目 30億円	20億円	・1か月当たりの営業費用など、第二期の経営規模は第一期とほぼ同額であるため、不測の事態に借り入れることができる額を第一期中期計画の規定額に合わせる。